

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課		■担当係	政策推進係
■評価事業名称	北上市版総合戦略策定事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010100 - 716	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築		
	■施策	01 効果的かつ効率的な行政経営の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)			
■法令等の名称	まち・ひと・しごと創生法第10条			
■関連計画の名称	まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(国)、まち・ひと・しごと創生総合戦略(国)			
■事業の目的と概要	まち・ひと・しごと創生法第10条に規定により、各市町村において総合戦略及び人口ビジョンの策定が求められていることから、国による「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、北上市版総合戦略及び人口ビジョンを策定するもの。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	北上市版総合戦略策定事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合戦略の策定</li> <li>●人口ビジョンの策定</li> <li>●本部会議開催 5回</li> <li>●部会の開催 10回</li> <li>●基本構想等審議会 3回</li> <li>●金融機関意見交換会 4回</li> <li>●未来創造会議(戦略部分) 3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本部会議開催 10回</li> <li>●部会の開催 6回</li> <li>●基本構想等審議会 4回</li> <li>●金融機関意見交換会 3回</li> <li>●未来創造会議(戦略部分) 3回</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費			13	6,643	
人件費			786	10,202	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			799	16,845	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	本部会議・部会開催			4	16	
02	人口ビジョンの策定			-	策定	策定作業は27年度に実施

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

03	総合戦略の策定		—	策定	策定作業は27年度に実施
----	---------	--	---	----	--------------

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

当初の目的である年度内に策定を完了したものの、あじさい都市の実現に向けた施策の展開を4つの重点プロジェクトとして戦略に盛り込んだものの。

### 問題点・課題等

あじさい都市の実現について、抽象的な大枠については盛り込んだものの、具体的な事業展開を位置付けられなかった。よって、施策と事務事業について、継続して検討をしていく必要がある。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策

策定については27年度を持って完了だが、毎年度のPDCAサイクルによって、適時性をもって見直していくもの。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了